

岡山市の公民館ニュース

れんめんめん

令和3年1月29日発行
 第3号
 岡山市教育委員会
 生涯学習課公民館振興室
 (岡山市北区幸町10-16, 234-6015)

新しい生活様式に、スイッチしよう。

スイッチ!おかやま

岡山で暮らす私たち一人ひとりの行動が、岡山の未来につながっているから。switch-okayama.jp
 今は、マナーをON。ゆるみをOFF。安心な岡山を、みんなで作ろう。

新型コロナ

**マナーをON。
ゆるみをOFF。**

対策で利用制限を強化

新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の市内での感染確認が続いていることから、教育委員会内で協議した結果、公民館の事業について、一部利用制限を強化することになりました。

当初、中止期間は1月末までとしていましたが、感染拡大が終息しないもとので、2月は当面の間、下に掲げる活動を中止することになりました。いつ公民館で感染者が出てもおかしくない状況です。改めて、各クラブ講座等で感染防止対策についてよく話し合い、ゆるみがないよう対応していきましょう。

<大きな声を出すことや歌うこと、呼気が激しくなる室内運動や行為>

- ・管楽器、オカリナ、尺八など強く息を吹く楽器を使用する活動
- ・合唱、カラオケ・詩吟、民謡、謡曲
- ・体操、運動(踊り、ダンスなどマスクを着用して行う場合は除く。)

<会食>

<活動上「密接」が必須な活動>

- ・身体的な接触を伴う運動や踊り・ダンスなど。

※地域の保健福祉や防災・災害対応など緊急性、必然性がある場合は、実施したり利用を許可する場合があります。



新型コロナウイルス感染症の終息までは、感染拡大防止と社会生活を両立する生活様式が求められています。今回の公民館の対策方針も、国県市の方針、岡山市地域活動(イベント)等の開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン、学校におけるガイドライン、全国公民館連合会のガイドラインをもとに作成しています。

感染症対策に新たな方針や知見が示された場合は、対策を変更することがあります。職員は感染防止に最大限の注意を払い、消毒等も行っています。

利用者の皆さんも、ご自身の命と健康を守るのために、来館時の手洗いやマスク着用等の感染防止策を怠ることなく、また、発熱や咳等があるなど体調不良の際は決して無理して参加しないようにしましょう。

公民館の実践紹介⑤

岡輝公民館

お父さんたちのやる気を公民館が応援

防災キャンプを一緒に実施

PTA役員仲間が思いを実現

令和2年度はコロナウイルスの感染拡大を防止するため、中止を余儀なくされた事業が多く、先が見通せないため、新しいことに取り組むにも躊躇する状況が続いています。そんな中、岡輝公民館では新規事業として地域の方々と実行委員会を作り、昨年11月29日に「岡輝学区2020防災キャンプ」を実施しました。

防災キャンプをやろう！

実行委員会のメンバーは、地元の小中学校PTA役員経験のあるお父さんたち6人とお母さん1人が中心です。今回の事業は、そのお父さんたちから公民館に「防災について地域で取り組みたいのだけど」と相談をもちかけられたことから始まりました。

地域の防災力づくりは、「岡山市立公民館基本方針」でも重点的に取り組む分野になっており、お父さんたちのやる気を応援し、一緒に防災キャンプを実施することにしました。

11月開催に向けて計画を着々と…

3月末に公民館に相談を持ちかけられて間もなく、コロナの感染が拡大し、全国に緊急事態宣言が出され、先行きが不安になりましたが、11月開催と決め、6月から毎月話し合いを重ねました。話し合いは、毎回午後7時から行ったのですが、日中勤務の方ばかりではないので、参加できなかつたり、仕事の合間に参加したりする方もおられました。



そのような中でも開催に向けて、時には冗談を交えながらも熱心に計画を立てていき、当日行う体験内容は、自分たちで説明できるようにと、予行演習も行いました。今年はコロナ禍に加え、初めての取り組みということもあり、あまり規模を大きくせず行うことにし、会場は密にならないで行える岡輝中学校体育館をお借りしました。

防災キャンプが無事終了！

当日は幼児から高齢者まで46名の参加で、西日本豪雨災害を体験した防災士のお話を聞いた後、段ボールベッドや段ボールトイレなどの組み立て、屋外ではハイゼックス袋でのご飯炊き等を体験しました。司会や説明はすべて実行委員が担当し、また実行委員が呼び

掛けたPTAのお母さんたちも受け付けを担当してくれ、4時間のプログラムを無事終了させることができました。

後日行った実行委員の反省会では、「やってよかった。反省

点を生かし、来年も防災に関わることをしよう！」ということですぐに意見が一致しました。また、今後も定期的に集まって、自分たちがもっと防災について勉強しようということになり、次回はロープワークを学ぶ予定です。



仲間とともに思いを実現

中心メンバーのNさんは、もともと防災に関心が高く、「防災まちづくり学校」に参加されたそうです。その中で、啓発が大切だということ学びました。その後西日本豪雨災害が発生し、地域で防災に取り組む必要性をより一層強く感じ、PTA役員仲間のお父さんたちに声をかけます。そこから仲間と共に思いを実現することになりました。

このお父さん同士は、PTA活動だけでなく、飲み会などしながら交流を深めており、今回の呼びかけに快く応じてくれたそうです。協力者を得たことで、実現に向けて動き出すことができたNさんは言われています。このお父さんたちは、昨年度公民館で行われた夏のイベント「夕涼み会」では、協力して模擬店を出していました。その時の様子を見ていた館長は、「学校の異なるPTAのお父さんたちが協力して焼鳥をする様子が楽しそうで、とてもいい雰囲気だった」と振り返ります。

公民館も一緒に取り組みます

公民館は、子どもから高齢者まで誰でも利用できるのですが、現役世代の方々、特に男性に公民館活動に関わってもらうことができにくいのが現状です。今回のように、自主的に地域で防災活動に取り組もうという現役世代の方に活躍してもらうことは、新たな視点や人の広がりにもつながり、ひいては地域の防災力アップにつながるのだと思います。

「来年は中高生の参加を！やるなら楽しくやろう！」というお父さんたちから、どんな防災事業が提案されるのか楽しみです。公民館としても、ぜひ一緒に取り組んでいこうと思っています。

公民館の実践紹介⑥

足守公民館

生活支援サポーター養成講座から

生活サポート チーム「ねこの手」を結成

「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい…」をちょっぴり支える

岡山市では「高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」という思いをかなえるために、地域で助け合い、支え合うための「居場所（通いの場）」と「出番（社会参加）」をキーワードに、考え、活動につなげていくための「生活支援サポーター養成講座」を開催しています。平成27年度からは、公民館で講座が開催できるようになり、足守公民館でも令和元年度に実施しました。

生活支援サポーター養成講座を実施

足守公民館では毎月第1月曜日に「公民館カフェ」を開催していますが、メンバーとは活動のことや地域のことなどいろいろ話をしながら、地域に暮らす高齢者（特に独居）のために何かできることはないか考えていました。そこで、この「生活支援サポーター養成講座」には、ぜひ参加してもらいたい！参加しよう！ということになり、みんなの都合の良い日に実施しました。

また、フォローアップの回では、今後の参考にするため、

実際に活動されているグループの方に来てもらって話を聞いた



とか、足守地域の大きな課題である移動支援について（これはオープン講座で開催希望）取り上げて欲しいなど、いろいろ希望が出されました。

順調にいけば、平成27年3月末までには、足守地域で活動するグループが立ち上がり、令和2年度からは「公民館カフェ」や地域でのサロン活動を通じて、困りごと支援の活動を少しずつ始められたはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため、

移動支援の講座は中止。グループ立ち上げに向けての話し合いも中止。公民館の活動自体も6月頃まで何もできないことになってしまいました。

生活サポート チーム「ねこの手」結成

最後の講座から約8か月たった令和2年10月、遅ればせながら「生活支援サポーター養成講座」を受講された足守地域の方々に声をかけ、話し合いの会（0B会）を開催しました。講座を受講しての思いや地域の現状などを話し合い、支援に向けての仕組みを作っていこうということになりました。それから何度も会を持ち、意見を出し合い、少しずつ慎重に、でも着実に活動するグループとしての形を作り上げています。先日、グループ名が【生活サポート チーム「ねこの手」】と決まりました。「ねこの手」という名前は、まだほんの少しのことしかできないけれど、ちょっとした困りごとは気軽に相談してね。会って話すだけでもいいよね。そんな気持ちを表しています。

「ねこの手」活動開始まであと少し！

チーム「ねこの手」は、現在、活動にむけての仕組みづくりを行っています。対象者や活動範囲、時間、運営費、受付方法、コーディネート、ボランティア募集など考えなくてはならないことはいっぱいです。すでに活動を始めているグループの状況を参考にしたり、社会福祉協議会や包括支援センターの職員さんに意見をもらったりしながら一歩ずつ進めています。

新型コロナウイルス感染症が広がり、まだまだ大変な時期は続きそうです。こんな時期に「ねこの手」の活動を開始できるのか？という意見もあります。でも、こんな時だからこそ、なんとか工夫しながらゆるやかに支え合う地域でありたいと思います。

「ねこの手」の活動が、そんな地域をつくる一助になればいいな…と思っています。

広がっています公民館でのスマホ講座

ICTを活用して豊かにしよう 地域と公民館活動



昨年11月から各公民館でスマホ講座が開かれています。12月末までに40回程度開かれましたが、1月に入って開催が決まる館も出ていて、総数では60回程度が開催される見込みになっています。実際に開かれた館での講座は大人気で、希望が多くて追加で開催を決めるところも出ています。

そんなスマホ講座とともに、今公民館で活躍されているICTボランティアの皆さんは、ICTを地域活動に活かそうと、昨年8月には「キャッシュレス、在宅勤務 ICTの革新が地域を変える」というテーマで研修会を開いて、ICTを活用して地域の格差を埋めて問題解決につなげ、地域や公活動を豊かにできるようにと考え合っています。

公民館講座 スマホを使ってみよう！

共催 岡山市産業振興・雇用推進課

スマートフォン（スマホ）について、こんな疑問はありませんか？



本講座では、スマホを使ってできること、特に「キャッシュレス決済」のメリットや安心な取り入れ方についてお伝えします。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者を応援するために12月・1月実施予定の「がんばろう岡山市！スマホ決済最大25%が戻ってくる年末年始キャンペーン」についてもご案内します。

- 日時：令和2年〇〇月〇〇日（〇）〇〇：〇〇～〇〇：〇〇
- 場所：〇〇公民館
- 講師：PayPay株式会社 梅谷 守
- 対象：スマホのキャッシュレス決済に関心がある人
- 定員：30名（申込み順）
- 持ち物：マスク、飲み物、筆記用具、自分のスマホ（その場でやってみたい人）
- 申込み：前日までに〇〇公民館窓口または電話・F.A.Q.メールにて

富山公民館で開かれたスマホ講座の様子

は左のチラシのように、キャッシュレス決済ができるようになることを目的にしているものが大半です。中には初めてスマホに触れるという方向けの初心者向けの内容もありました。

今、市内ではスマホ決済が熱い！とばかりに各公民館でスマホ講座が開かれています。大人気で、定員を超える申し込みがあり、次の講座を企画することになった例も出ています。この人気の理由の一つは、岡山市が十一月と一月にキャッシュレス決済に25%を還元するキャンペーンを行い、このキャンペーンに参加している店での買い物にペイペイを使えば、一回千円、月に一万円を上限に還元を受けられることになってきたことがあるようです。今回のスマホ講座は公民館と市の産業振興課が連携して企画実施しているもので、その内容は左のチラシのように、キャッシュレス決済ができるようになることを目的にしているものが大半です。中には初めてスマホに触れるという方向けの初心者向けの内容もありました。

広がるICTの活用 見たことありますか 公民館のフェイスブック

岡山市の公民館は、あまり知られていないのですが、実はどの館もフェイスブックで情報を発信しています。公民館からのお知らせはもちろん、活動の様子。主催講座やクラブ講座の活動を写真入りで紹介したり、今年度はできない館がほとんどですが、公民館まつりの様子なども載せています。ぜひご自身が利用されている公民館のページや、他の公民館のページもぞいてみてください。

公民館振興室がZOOMのライセンスを購入し、各公民館でも使用できる態勢ができました。主催事業等でもオンラインで事業ができるようになりました。都合で公民館に行けない場合でも、オンラインで参加できますし、県外の講師にオンラインで教えてもらうことも可能です。ZOOMの使い方がわからないという方は、公民館に相談してみてください。使い方の学習会ができるかもしれません。

公民館でZOOMのライセンスを確保 オンラインでミーティングもできますよ

実際に参加された方からは、「すぐにコンビニに行って実行してみます」という声や、「大変良く理解出来ました。さっそくやってみます」などの声が出されました。内容についても「わかりやすく良かった。もっと早く講座に参加していたらと思う」という声や「大変分かりやすい説明で」「今日使ってみよう」とか「意外とカンタンなので驚きました」などの声が出されています。一方、公民館で活